

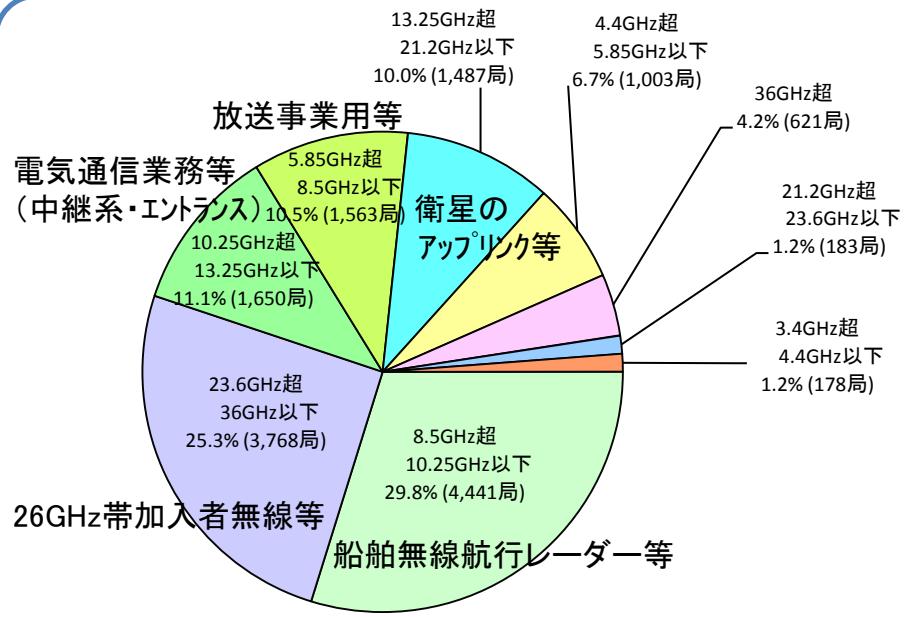
1. 平成21年度調査の調査対象周波数帯(3.4GHz超)について

3. 4GHz超全体の傾向

▶ 本周波数帯全体の無線局数は、平成18年度12,671局から平成21年度14,894局に増加(17.5%増)。

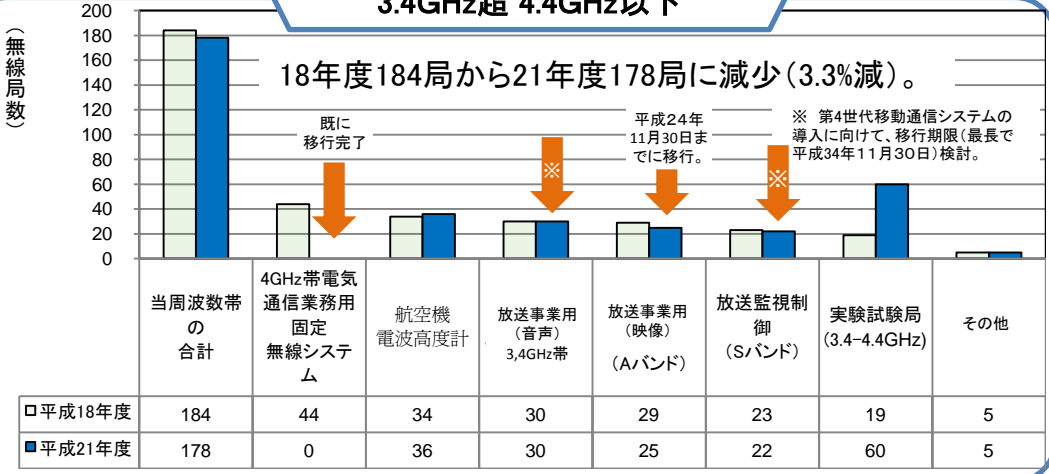
(無線局の割合)

- ① 8.5GHzを超え10.25GHz以下:船舶無線航行レーダー等29.8%
- ② 23.6GHzを超え36GHz以下:26GHz帯加入者無線システム等25.3%
- ③ 10.25GHzを超え13.25GHz以下:電気通信業務の中継・エントランス回線等11.1%
- ④ 5.85GHzを超え8.5GHz以下:放送事業用無線局が多く利用10.5%
- ⑤ 13.25GHzを超え21.2GHz以下:衛星のアップリンク等に利用10.0%

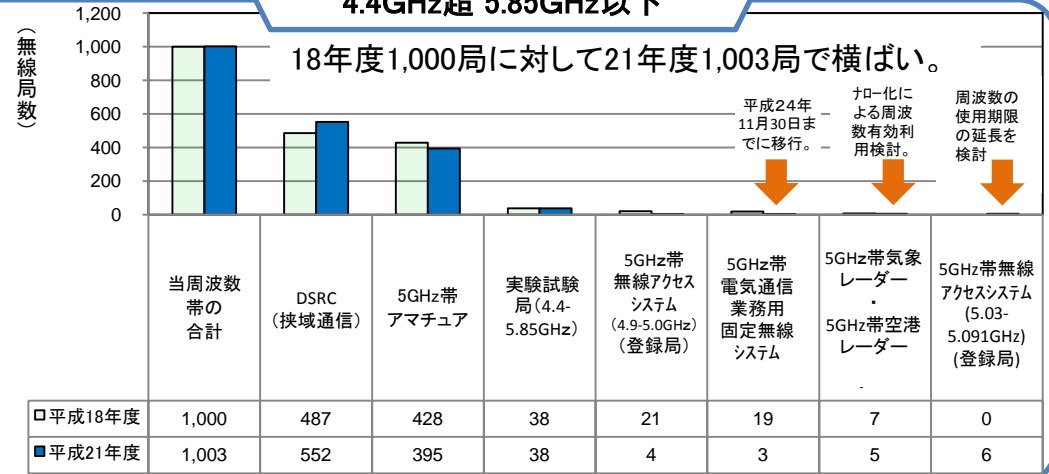


2. 9つの周波数区分ごとの調査・評価結果について

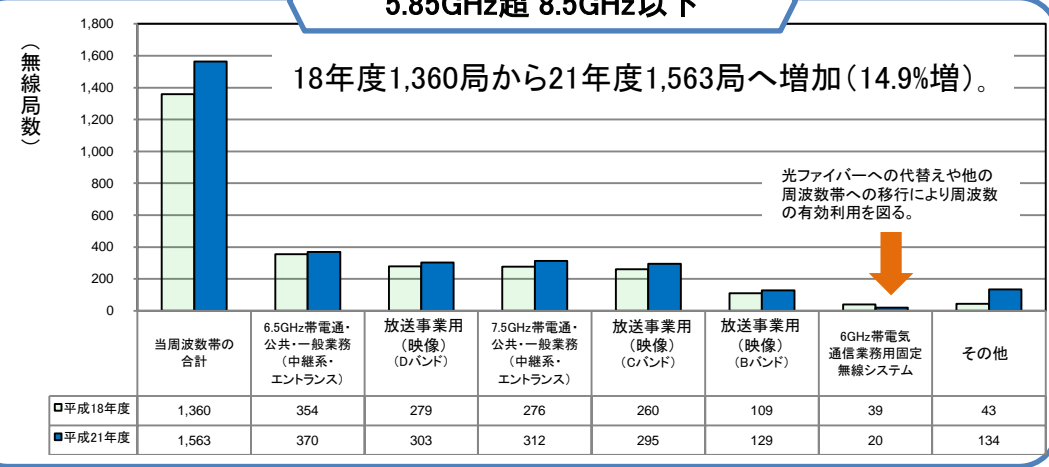
3.4GHz超 4.4GHz以下



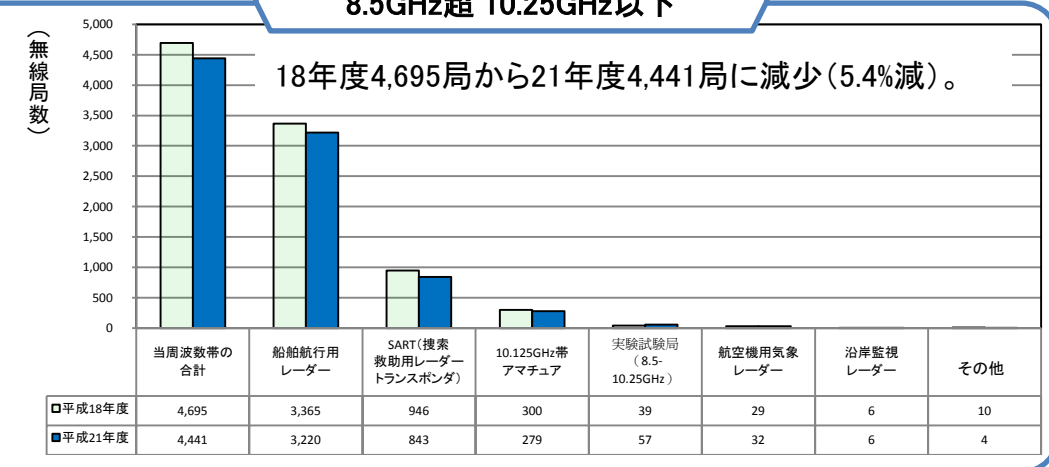
4.4GHz超 5.85GHz以下



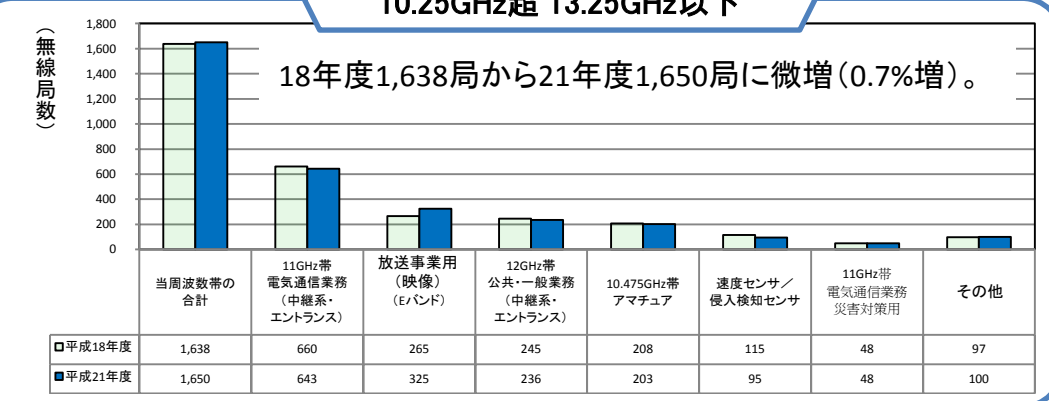
5.85GHz超 8.5GHz以下



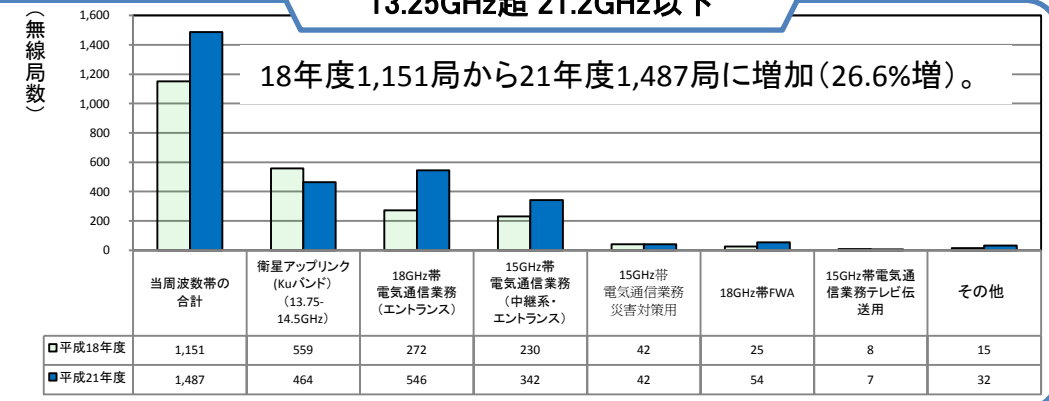
8.5GHz超 10.25GHz以下



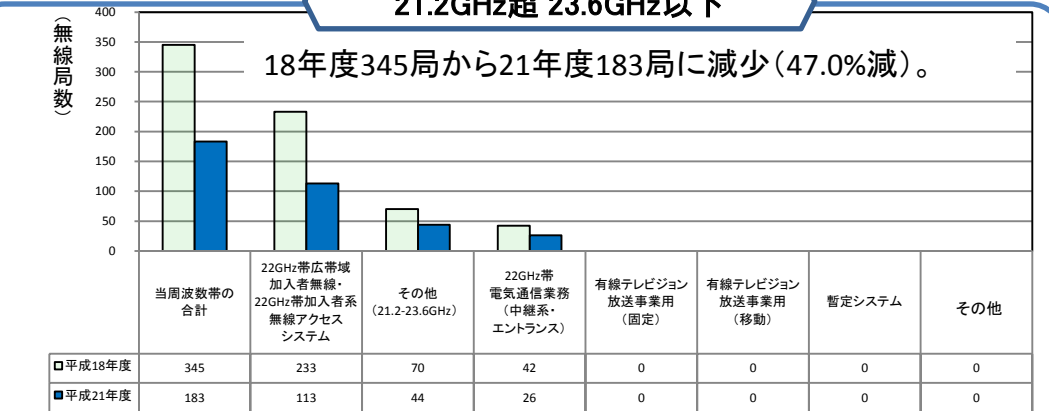
10.25GHz超 13.25GHz以下



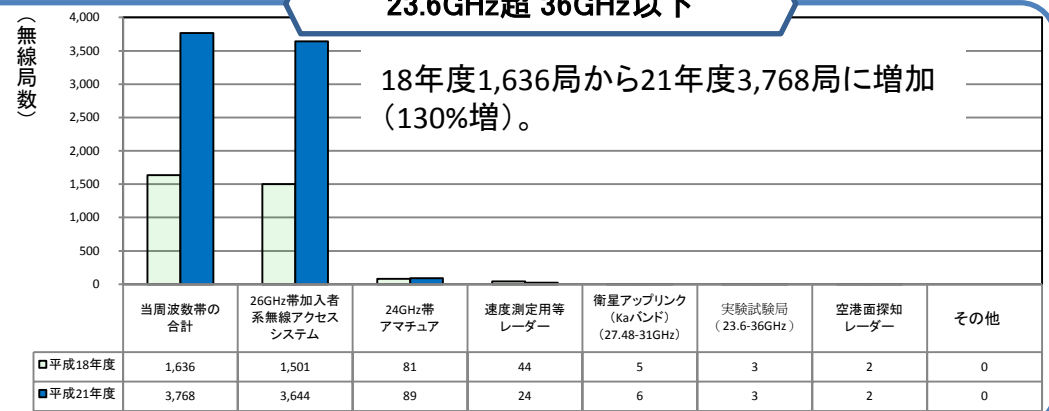
13.25GHz超 21.2GHz以下



21.2GHz超 23.6GHz以下

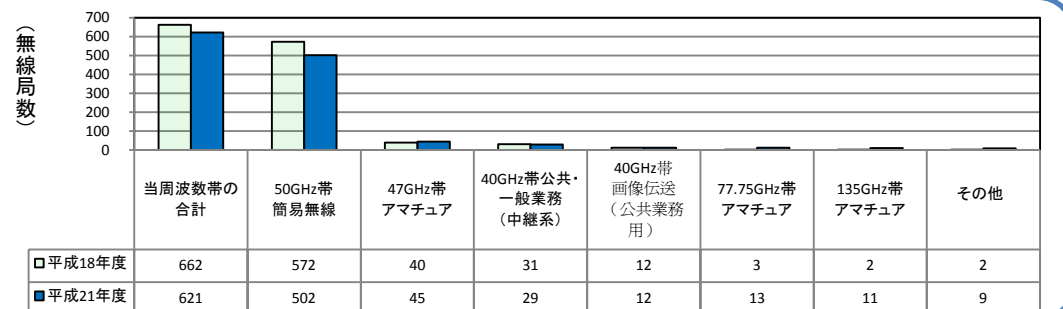


23.6GHz超 36GHz以下



36GHz超

- ▶ 18年度662局から21年度621局に減少(6.2%減)。
- ▶ 38GHz帯加入者無線アクセスシステム、40GHz帯PHSエントランスの無線局近畿管内において、今回及び前回調査(平成18年度)で0局。
- ▶ 無線局免許が不要な特定小電力機器は、大幅に増加。
 - ・60GHz帯ミリ波画像伝送用及びミリ波データ伝送用:注423台 → 917台
 - ・76GHz帯ミリ波レーダー用:注 11,762台 → 143,265台



注 無線局免許が不要な特定小電力機器の台数は、平成15年度から平成17年度まで及び平成18年度から平成20年度までの全国の出荷台数の合計値による比較。